

働き方改革へ コンサル派遣

中小企業へ広島県

広島県は本年度、県内の中小企業5社を公募し、働き方改革に詳しいコンサルタントを派遣する。意欲はあるのにノウハウが不足している企業の応募を想定しており、長時間労働の是正などの取り組みを支援する。各社には来年度以降、モデル企業として改善例などを積極的に発信してもらう。

従業員31人以上300人以下の企業が対象。コンサルタントはまず、経営者、管理職、従業員の各層へのアンケートや面談で職場環境や働き方改革への意識などを把握する。課題や改善策を経営者に示し、労働時間削減や有給休暇の取得率向上、離職防止に向けた介護休暇や在宅勤務の制度導入などの目標を定める。

企業側は7月から実践に入る。コンサルタントは来年3月まで月2回程度、各社を訪問。目標達成に向けた意識改革や業務改善、推

の企業の目標や参考になるよう、ノウハウや成果を発信する。

県は昨年度、試行的に広島市内の卸小売業1社にコンサルタントを派遣。時間外労働の削減▽年休取得の促進▽従業員の意識改革―で効果があったという。

企業の参加料は25万円。県内の経済団体が近く創設

洪水情報緊急メール

整備局 9水系の流域住民に

中国地方整備局は5月1日から、管内の国の管理河川13水系のうち9水系の洪水に関する情報を、流域の住民の携帯電話やスマートフォンに「緊急速報メール」として一斉送信する。2015年9月の関東・東北豪雨に伴う茨城県常総市の鬼怒川流域の浸水被害を受けた国土交通省の対策の一環。

9水系は、広島、山口、島根、鳥取の4県を流れる江の川、芦田川、小瀬川、佐波川、高津川、斐伊川、日野川、天神川、千代川。気象庁の緊急地震速報と同

を予定する、働き方改革の優良企業認定制度の認定基準を本年度中にクリアすれば、県から奨励金25万円が支給され、実質的な負担はなくなる。

県は26日まで応募を受け付け、書類選考などを経て5月下旬に派遣先を決める。県働き方改革推進・働く女性応援課 ☎082(513)3340。(胡丁洋)

い」と呼び掛ける。15年の鬼怒川の浸水被害では、堤防決壊により濁流が広がる中、逃げ遅れる住民が相次いだ。洪水情報の緊急速報メールはこれを受け、国交省が昨年9月に鬼

怒川と愛媛県大洲市の肱川の2河川で導入。今回は全国109水系のうち中国地方の9水系をはじめ63水系で同時に始める。中国地方整備局水災害予報センター

政治費問題「説明果たした」 森山島根県議が回答

有識者からは疑問の声

島根県議会の森山健一県議(出雲市、8期)が不適切な政治資金や政務活動費支出を指摘されている問題で、森山氏側は「説明は会見で終えた」との認識を12日、示した。だが、具体的な回答を保留した問題も

見での説明、(説明は)避難行動を促すきっかけになる」と説明。残る太田川、吉井川、旭川、高梁川の4水系にも順次広げていく方針でいる。(松本大典)

汁なし担々麺や焼きがき、和牛

広島県は、27日に改装オーブンする東京・銀座のアンテナショップ「TAU(タウ)」を販売する1階の一角24平方メートルに、カウンター式の客席を8席と立食用のテーブルを設ける。看板メニューに据えける。汁なし担々麺は、タウが専門店「キング軒」(広島市中区)とフランチャイズ契約を結んで提供する。焼きがきなど旬のメニューと合わせ、

がきや生がき、焼きなどもメニュー。都内に出店するテナショップで、キキそばなどが集客に貢献、ろしまブランドは、広島県を訪

メグルカフエ 広島満喫

県産グルメの魅力を伝える。県産レモンなどのジェラートを販売する1階の一角24平方メートルに、カウンター式の客席を8席と立食用のテーブルを設ける。看板メニューに据えける。汁なし担々麺は、タウが専門店「キング軒」(広島市中区)とフランチャイズ契約を結んで提供する。焼きがきなど旬のメニューと合わせ、また、季節によって焼きがき店の運営も限定で出す。